

# もみじ

—広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室報告
2. 県民ハイキング報告
3. 全国高校クライミング選手権報告
4. 新年互礼登山報告
5. 岳連短信

## 1. 登山教室報告

第 9 回 2 年生 12/8(土)~9(日)

登山形態: 小屋泊山行

山城: 大山

人数: 7 名 (スタッフ含)

今回の 2 年生は大山夏道を往復しました。今年の大山は雪が少なく、雪山歩行の練習があまり出来ませんでした。そのかわりロープワークを 2 日間に渡って出来たので良かったのではないかと思います。

(指導部 久保田 征治)

『12 月山行を終えて』

(登山教室 2 年 桑実 勲)

2 年で初めての本格的な雪山山行でした。ザックの重量は飲み物が減りいつもより軽く 21kg でスタートしました。初めて使うアイゼン、ピッケルに何か心も踊り、ガスの中でしたが山行を楽しめました。今回は風もそれほどではなかったと聞きましたが、時折吹く風にバランスを崩すこともありました。登山教室に入ってから装備もそろい、唯一の心配であった小屋泊での寒さも今回の山行では特に問題なかったように思います。終わってから気づきましたが、今回は衣類調整を全く行うことなく山行を終えました。意識していたわけではありませんが、今回の山行には最善の選択

だったのかもしれませんが。雪山は天候、雪質、積雪量で難度や厳しさが変わりますので、これからプライベートでも経験を重ね、いろいろな状況に対応できるようになりたいです。雪山は命に関わる場面も増えますが、安全に山行が行えるよう皆さんから教えて頂いたことを実践していきます。



(写真提供 久保田 征治)

第 9 回 1 年生 12/16(日)

登山形態: 日帰り山行

山城: 吉和冠山

人数: 14 名 (スタッフ含)

今回の 1 年生は雪山体験ということで吉和冠山に行ってきました。今年は雪が少なく心配していましたが山頂付近ではなんとか雪を踏むことができました。後半は雨だったのでそれも良い経験になったと思います。

(指導部 森本 寛)

『12 月の山行を終えて』

(登山教室 1 年 蔭田 由美子)

今月の山行は「もしかすると雪を踏めるかも!」。天気予報は雪ではなく雨、数日前に少し降ったらしいとのことでしたが、登山口には雪はなく少しガッカリ気味のスタートでした。急斜面や崖の登りはキツかつ

たですが、途中から湿っていたけど雪も降りだし、足元にも雪が出てきて下りではワカンも履けて何とか目標達成できてよかったです。

今回の反省点は二つ。まずトップを歩いていた時に、コンパスで方角は大体合っていたけど、もっと左を行かないといけなところを右寄りに行ってしまった。もっと地図と地形を見て歩くようにしたいと思います。

もう一つはワカンを付ける時、事前に確認はしてましたが、時間がかかった上に間違っていました。天候が悪い中付けることを想定して、正しく速やかに付けられるよう練習しなければ。

そして雪の中の歩き方や、雨や湿度の多い雪でびしょ濡れになる手袋についてもどうしたらいいか教えていただき勉強になりました。

今月の山行もありがとうございました。



(写真提供 松本 正和)

## 2. 県民ハイキング報告

期日：12月9日(日)

コース：広島港～切串港～クマン岳～古鷹山～奥小路  
登山口(解散)～小用港

担当：安藤縦走会

参加者：会員及び一般参加 42、担当会 18、計 60 名

(以下、安藤縦走会ホームページより)

前日は小雪がちらつき、冷えて寒かったが、当日は時折陽が差すものの曇りの天気だが寒さは和らぐ。

8:00 3 班に班分けされた名簿に従い、各班の担当による受付開始。8:40 発の船で江田島、切串港へ。

駐車場前の東屋で、開会式、注意説明、準備体操後各班にそれぞれ、担当の CL, SL, 救護が同行し 9:30 1 班から出発。続いて 5 分おいて 2 班、3 班と出発。途中、衣類調整等、休憩を取りながら 11:20 クマン岳頂上へ。絵下山方面の山の至る所で豪雨災害で崩落し、露わになった山肌が痛々しい。全員が登頂後、昼食、集合写真撮影。そして、豊田理事長から、クマン岳の山名の由来の説明から瀬戸内海賊の話に皆さん聞き入る。



(宇品港での受付と切串港での開会式)



(クマン岳での歴史解説と集合写真)

12:00 昼食で空腹を満たして皆さん笑顔で古鷹山を目指し、班毎に出発。12:15 帆立岩。12:30 古鷹山登山口林道で各班の CL による、本日のテーマ「低体温症」のワンポイントレッスン。低体温症になる要因の「濡れ」「風」「エネルギー」のポイントの説明。「ツェルト」に入り体験。



(ワンポイントレッスン・ツェルト体験)

13:15 古鷹山山頂。各班毎の写真撮影。ここでも豊田さんの話。眼下の術科学校の訓練にわずか 15 分で登ったとのこと。戦艦大和にまつわる話、宮城道雄作曲の「春の海」は眼下の瀬戸内の海をイメージして作曲されたとのこと、タブレットから流れる「春の海」を聴きながら暫し静かな海を見下ろす。豊田さんによると、山を実際に歩き、その山に纏わることを調

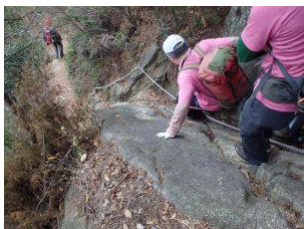


べて話をされているとの事で、新たに知ることも多い。



（古鷹山山頂にて）

13：30 下山。当初、森林公園から切串港へのコースを、7月の豪雨災害による林道の崩落箇所を考慮し、安全のため、奥小路登山口へ下る。登山口まで思ったより長いが、落ち葉が敷き詰められた登山道を歩くのは脚には優しい。途中、博奕岩を通過、奥小路登山口へ。14：35 駐車場で、閉会式、整理体操後解散。15：30 発、小用港から宇品港へ帰る。



（古鷹山からの下山、奥小路登山口での整理体操）

他の山の会、多くの一般の参加して頂いた方々との交流も出来、怪我や体調不良を起こすこともなく無事終わることが出来ました。

### 3. 全国高校クライミング選手権報告

12月22～23日、埼玉県加須市民体育館において第9回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会が開催され、広島県からは男子で内田輝（呉港2年）、千原悠（安芸府中2年）、山田岳士（修道2年）、女子で岡崎遥（広島国際学院2年）、濱野有実香（基町1年）、松崎萌夏（福山明王台1年）の各選手が出場しました。

成績のほうは以下の通りで、残念ながら今年は準決勝（26位まで）に進出することはできませんでした。千原29位、内田37位、山田97位（男子110人出場）岡崎27位、濱野50位、松崎73位（女子101人出場）



（写真は兵庫県・桑田克治さん、高知県・鎌倉正典さん、修道高校・西川省吾さんより）

### 4. 新年互礼登山報告

1月6日、好天の下、毎年恒例の宮島安全祈願・互礼登山が行われ、安全祈願には約20名が出席しました。また登山では10を超える会・個人会員が宮島に集結し、新春のうららかな宮島を満喫しました。





(豊田理事長の句)

みやしろ の のきに たゆとふ はる の うみ



(写真は前頁のも含め豊田理事長より)

## 5. 岳連短信

### 1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 466 (1月号)

福山山岳会『会報』H31.1月号

### 2. 1~2月の行事案内

1/20 県民ハイキング (佐木島・大平山)

1/26 岳連例会山行 (臥龍山)

2/9~10 冬山技術研修会 (三瓶山)

2/9~10 高体連大会 (もみのき森林公園)

2/17 県民ハイキング (白鳥山)

### 3. 岳連忘年会

12/14 (金) 18 時~岳連事務所にて恒例の忘年会が開催され、久しぶりの京オ名誉会長を含め 14 名の参加がありました。料理は事務局スタッフ手作りのおでんで会費も千円と安いので、来年以降皆さん奮ってご参加ください。



## 4. 平成 30 年度広島県体育協会体育賞表彰

12月1日にリーガロイヤルホテル広島で県体協の本年度体育賞表彰があり、当連盟推薦の仲井正美さん(ひこばえ)と福山市体協推薦の山内充人さん(福山山岳会)が「功労者」として表彰され、また本年度インターハイ・全校高等学校登山大会優勝の修道高校ワンダーフォーゲル班(監督:内藤弘泰、選手:白根颯・御手洗聡・山田岳士・窪田昂星)が全国大会団体優勝の部で表彰されました。

また、併せて開催された叙勲・褒章・文部大臣表彰受賞者祝賀会では、黄綬褒章受章の前垣壽男さん(広島県綱引連盟会長・日本山岳会 広島支部会員)が紹介されました。

なお、体育賞の本年度受賞者数は下記のとおりです。功労者の部 25 団体代表、国際大会優秀の部 28 名、全国大会団体優勝の部 6 団体、同個人優勝の部 46 名、新記録の部 1 名、国民体育大会優勝及び入賞の部 1 位 7 競技・2 位 9 競技・3 位 6 競技・4 位 3 競技・5 位 9 競技・6 位 5 競技・7 位 2 競技・8 位 6 競技

(仲井理事の報告をもとに掲載)

## 5. 福山山岳会『コースガイド 100』の紹介

福山山岳会は今年創立 100 周年を迎える県内で最も歴史のある山岳会ですが、それを記念して備後地区を中心とした山のガイドブック『コースガイド 100』が 2 月 23 日に啓文社(本社尾道市)から発刊される予定です(税込 2,160 円)。

また 4 月 29 日には福山市山野町で 100 周年記念式典が開催される予定ですが、詳細は次号以下で案内します。

## 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。